



教育課程研究協議会

平成29年9月1日(金)

9月1日(金)に市役所で『平成29年度大阪狭山市教育課程研究協議会』を開催し、小中学校から管理職をはじめ50名の教職員が参加しました。

- ①全国学力学習状況調査及びチャレンジテストの結果について
- ②大阪府小中学校新教育課程研究協議会について

市教委の学力向上アドバイザーより、平成29年度の全国学力・学習状況調査とチャレンジテストの結果について経年比較等総合的な説明がありました。

続いて市教委指導主事より、大阪府教育課程研究協議会で示された「新しい学習指導要領の考え方」「改訂の経緯及び基本方針」等について、(1)学習指導要領等の学びの地図としての役割、(2)育成をめざす資質・能力の明確化、(3)主体的・対話的で深い学びの実現

に向けた授業改善の推進、(4)各学校におけるカリキュラムマネジメントの推進、以上4点の重要性について説明し、全体での共有を図りました。

③次期学習指導要領に向けての実践報告

東小学校より、今年度校内研修が教師全員で授業を創り上げていく体制になってきたこと、南一小からは研究3部会が中心となって指導案や人権教育カリキュラム等の検討に取り組んでいるという報告がされました。

南三小より、特別の教科道德の実施に向けて、効果的な指導方法や評価方法の研究などに取り組んでいること、南中からは主体的・対話的で深い学びを実現するために単元計画を大切に、放課後には模擬授業も行っていることなどの報告がありました。



市制施行30周年記念事業

防災学習講演会

平成29年9月13日(水)

9月13日(水)にSAYAKAホールで『防災学習講演会』が行われ、市内の中学1年生全員約500名が参加しました。この講演会は、大阪狭山市市制施行30周年記念事業として、中学生が地域の方々とともに「災害」という観点から大阪狭山市について理解を深める目的で開催するものです。

前半は、各中学校の代表による

作文の発表です。市内の中学1年生全員が防災をテーマに書いた作文の中から、各学校1人が選ばれ発表してくれました。会場の生徒たちは、3人の作文の発表を自分の考えと比較して、メモをとりながら熱心に聞いていました。



市長あいさつ

後半は、東京大学片田敏孝先生による「想定外を生き抜く力～大津波から生き抜いた釜石の子どもたちに学ぶ～」というテーマの講演会です。片田先生は、岩手県釜石市で



津波防災教育に取り組んでこられましたが、東日本大震災の時その教えを守り、自分たちの判断で素早い避難を行い、大津波を生き抜いた子どもたちは「釜石の奇跡」と呼ばれています。

そんな子どもたちに、片田先生が伝えていた避難三原則は、**①想定にとらわれるな ②最善を尽くせ ③率先避難者たれ**です。まずは自分の命は自分で守り、守った命で他者を助ける。大事なことは、自分の意志で避難する意識をもつことであると教えていただきました。参加した1年生は、日常の備えや的確な判断のもと主体的に行動することや、地域の防災活動や災害時の助け合い活動の大切さを十分理解することができたようです。



チームワーク研修

平成29年8月22日(火)

8月22日(火)に市役所で『チームワーク研修』が開催され、小中学校から教職経験10年までの教職員や首席・指導教諭・管理職等合わせて80名が参加しました。

【第1部】元気の出る授業づくり

講師は大阪教育大学の岡田耕治先生です。参加者は元気度順にグループになり、「行為の中の省察」についての話がありました。その後「左半分で聴く」ことについて実際に自分が話す・聴く体験を通して、カウンセリングの極意を学びました。



【第2部】ワークショップ

研修の進行は、各小中学校から1名ずつ計10名の企画運営スタッフです。まずスタッフによる寸劇「授業でよくある教師の失敗」を見てもらい、個人でその改善点について考え、その後グループで話し合います。各グループで話し合ったことは、前で発表しました。



前半は小学校、後半は中学校バージョンでしたが、最後にスタッフが考えた改善例の寸劇も発表され、内容の深まりが感じられました。

【第3部】より良い授業づくりのために

講師は再び岡田先生です。参加者はまず自分が話し合いたいテーマに基づいて18のグループに分かれました。

そして「みつばちわくわくカフェ」で、テーマについて

①一人で構想、②グループで交流、③移動して情報収集、④収穫の共有という順番で話し合いを進めました。

最後は、⑤アウトプットです。どんな授業づくりをしたいのか、個人の1分間ライティングをポジティブクエッションで繰り返して、充実したチームワーク研修を終了しました。



防災給食

平成29年9月4日(月)

毎年9月1日は防災の日で、この日を中心とした1週間が防災週間として、各学校でも防災訓練等が実施されます。学校給食でも、防災教育の一環として9月4日(月)に『防災給食(カレー)』が提供されました。献立内容は、ごはん・レトルトカレー・牛乳・小魚パックで、レトルトカレーは温めずに食べられる上、食物アレルギーにも対応した非常食カレーです。



初体験の1年生は、カレーの袋を開け、こぼれないようにごはんにかけるのが少し難しそうでした。感想を聞いてみると「野菜がいっぱい入っていた」「思ったよりおいしい」となかなか好評でした。

まるごとパック研究発表会に向けて

大阪狭山市立西小学校

10月24日(火)の『まるごとパック研究発表会』に向けた準備が進む西小学校の吉川豊校長先生を訪ね、取り組み内容や重点事項などを伺いました。 □Q ■A

□気持ちを揃えて頑張っている西小が、大事にしていることは？

■「子どものために」を合言葉に、様々な情報をみんなできめ細かく共有し、学校全体で子どもを育てていく体制にしています。

□2回目として、意識していることは？ ■他校の良いところは積極的に取り入れて、前回よりレベルアップしたものにしたいと教職員全員で考えています。 □準備は順調に進んでいますか？

■9/28 各部の進捗状況の確認、10/13 指導案の締切り、10/16 大阪大学西森先生のICT研修、など予定通り進んできています。

□当日の日程は？ ■13:00～ 受付 13:15～13:30 清掃

13:30～13:45 昼休み 13:50～14:35 公開授業(5限目)
14:55～15:30 全体会(授業を中心に3部の取組みを報告)
15:40～16:40 第三中学校区元気あつぷり分科会(5会場)

□公開授業については？ ■当日のリーフレットに全学級の授業略案をつけています。ユニバーサルデザインを取り入れ、ICTも活用した授業にします。次期学習指導要領も意識して、道徳や外国語を含め、いろいろな教科を公開しようと考えています。

□地域の方には？ ■日頃からお世話になっている地域の方々に、感謝の気持ちを込めた学校公開にしたいと思います。

